

実り豊かな生活文化都市

中央市

議会だより

2010年3月1日発行

第16号

発行 山梨県中央市議会

発行人 議会議長 山本国臣

編集 議会広報編集委員会



すみれ児童館豆まき

■ 12月定例会で決まったこと	2～4
■ 市長の行政報告	5
■ 一般質問に10議員	6～11
■ 委員会レポート	12～13
■ 市民の談話室・編集後記	14

決まったこと

平成二十一年中央市議会第四回定例会は、十二月八日～十八日までの十一日間の日程で開催されました。

平成二十一年度一般会計補正予算をはじめ、条例一件、規約改正四件、補正予算十件、請願二件が提案され、それぞれ常任委員会に付託し審議し、全ての案件について、可決しました。請願は一件を採択し意見書を提出、一件は継続審査としました。

条例の改正

介護保険条例中改正

社会保険の保険料等に係る延滞金を軽減するための厚生年金保険法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

規約の変更

- ・後期高齢者医療広域連合規約の変更
 - ・広域事務組合規約の変更
 - ・三郡衛生組合を組織する組合規約の変更
 - ・市町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更
- 平成二十二年三月七日をもって、増穂町および鵜沢

補正予算

町が脱退し、同年三月八日から富士川町が加入することに伴う、各一部事務組合の規約の変更。
(以上四案件とも)

平成二十一年度一般会計補正予算(第4・5号)

補正額

三億四、六〇九万円

予算総額

一二億二、六六四万円

【おもな歳出】

■議会費

議員報酬 △一八六万円

■総務費

市長選挙費 一三三万円
市議会議員補欠選挙費

三五二万円

- ・全国瞬時警報システム改修工事 五三八万円
- 民生費
- ・国民健康保険特別会計繰出金 六、九一五万円
- ・介護保険特別会計繰出金 一二六万円
- ・障害者介護給付費等事業 四、〇〇〇万円
- ・児童環境づくり基盤整備事業等補助金 一、六九四万円
- ・子育て応援特別手当支給事業 △三、五三四万円
- ・豊富保険センター浴室天井改修工事 五二五万円

■衛生費

・環境衛生巡回措置業務 一三五万円
- ・住宅用太陽光発電システム設置費補助金事業 三五〇万円
- ・新型インフルエンザ予防接種拡充事業 九二四万円

■労働費

・緊急雇用創出事業 三四〇万円

■農林水産業費

・転作促進地域活性化事業 五五〇万円
- ・農道28号線改良工事 九三〇万円

- ・農業集落排水事業特別会計繰出金 △三二九万円
- 土木費
- ・耐震改修モデル事業 二一〇万円
- ・市道玉穂新環状南通り線電柱等移設補償費 二〇〇万円
- ・土地区画整理事業特別会計繰出金 △七五〇万円
- ・下水道事業特別会計繰出金 △二、一八二万円
- 消防費
- ・甲府地区広域行政事務組合負担金 八〇三万円

■教育費

- ・準要保護就学援助事業費 三〇〇万円
- ・豊富地区生徒編入等による備品購入費 五三五万円
- ・田富中学校武道場建設事業 二億一、〇七二万円
- 人件費
- ・特別職を含む職員の期末・勤勉手当 △三、一四八万円(特別会計含む)



需要が増大している太陽光発電システム(玉穂総合会館)

12月定例会で

国民健康保険特別会計補正
予算 (第2号)

補正額

二億九、一九五万円

予算総額

二七億八、五七四万円

介護保険特別会計補正予算
(第3号)

補正額

三、六三四万円

予算総額

一四億一、七九五万円

地域包括支援センター特別
会計補正予算 (第1号)

補正額

△九〇万円

予算総額

二、九六四万円

簡易水道事業特別会計補正
予算 (第3号)

補正額

△六四万円

予算総額

二億三、九〇二万円

下水道事業特別会計補正予
算 (第3号)

補正額

八七万円

予算総額

一九億一、三一七万円

農業集落排水事業特別会計
補正予算 (第3号)

補正額

一六万円

予算総額

三億二、九二二万円

土地区画整理事業特別会計
補正予算 (第3号)

補正額

二、四五八万円

予算総額

三億一、一一七万円

上水道事業会計補正予算
(第3号)

・収益的支出

補正額

△六万円

予算総額

三億二、〇二六万円



中学校指導要領の改正により必修が
義務付けられる武道（玉穂中学武道場）

請 願

所得税法第56条の廃止を求める請願

請願者 山梨県商工団体連合会会長
雨宮富美雄

紹介議員 一瀬 明

(要旨) 世界の主要国に倣い、日本でも税法
上も、民法、労働法や社会保障上でも家族従
業者の人権保障の基礎を作るためにも、所得
税法56条を廃止する意見書を政府関係機関へ
提出するよう要望する請願。

「所得税法第56条の廃止を求める請願」に
ついては、審査の結果、継続審査とする。

意見書

請願を採択し内閣総理大臣、厚生労
働大臣あてに意見書を提出

(要旨) 医療機関においてワクチンの接種が
可能となっても、任意接種であるため費用負
担が大きく、公費助成や定期接種化など、子
どもたちの命を守るため、細菌性髄膜炎の予
防対策を強力に図る意見書を関係諸機関へ提
出するよう要望するもの。

請 願

子どもたちの生命を守るため、ヒブ
ワクチン及び肺炎球菌ワクチンへの
公費助成、定期接種化を求める意見
書の提出を求める請願

請願者 中央市臼井阿原728-1
一瀬かおり

紹介議員 設楽 愛子

平成21年 第3回臨時会

平成二十一年中央市議会第三回臨時会が、十一月三十日に開催されました。

中央市職員給与条例の改正をはじめとする条例案件四件と専決処分一件について審議した結果、原案どおり可決及び承認しました。

条例の改正

・職員給与と条例改正

人事院勧告および山梨県人事委員会の勧告にかんがみ、職員に支給する給料月額および期末・勤勉手当の額を減額するための条例改正。

・特別職の職員で常勤の者の給与および旅費に関する条例改正

・職員給与改定にかんがみ、市長、副市長に支給する期末手当の額を減額するための条例改正。

・教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例改正

・職員給与改定にかんがみ、教育長に支給する期末手当の額を減額するための条例改正。

職員給与改定にかんがみ、教育長に支給する期末手当の額を減額するための条例改正。

・議員報酬および費用弁償等に関する条例改正

職員給与改定にかんがみ、議会議員に支給する期末手当の額を減額するための条例改正。

専決処分

一般会計補正予算

(第3号)

補正額 三、一六二万円

予算総額 一二〇億八、〇五四万円

動産取得

平成二十二年中央市議会第一回臨時会が、一月二十七日に開催されました。

動産取得案件三件と議員提出案件一件が提案され、審議の結果、原案どおり可決しました。

▼小学校PC教室パソコン等備品購入

取得する動産

デスクトップパソコン(児童用八〇台、教師用二台)
掲示用モニター及び周辺機器一式

・契約の相手方

株式会社カルク

・契約金額

二、六二四万円

▼市立図書館システム機器備品購入

取得する動産

システムサーバー二台、事務用・利用者用パソコン二九台、プリンター等周辺機器一式

・契約の相手方

(株)システムインナカゴミ

・契約金額

▼市民バス新車購入

取得する動産

大型バス
(乗車定員四二名) 一台

・契約の相手方

山梨いすゞ自動車株式会社

・契約金額

一、五七七万円

推薦

・農業委員会に関する法律の規定に基づく農業委員会委員の議会推薦

任期満了に伴い、中央市農業委員会委員に次の三名を推薦しました。

塚原サツキ氏

下三條1307

田中 道重氏

東花輪758

石原 有亨氏

関原849

平成22年 第1回臨時会

3月議会の予定

三月議会定例会は、任期満了に伴う市長選挙執行のため、次の日程を予定しております。

(本誌をご覧いただくころには開催中と思いますが、ご了承ください。)

2月

23日(火) 開会

24日(水) 総務教育常任委員会

25日(木) 厚生常任委員会

26日(金) 産業土木常任委員会

3月

1日(月) 代表質問

2日(火) 一般質問

4日(木) 予算特別委員会

5日(金) 予算特別委員会

8日(月) 予算特別委員会

9日(火) 予算特別委員会(予備日)

10日(水) 閉会

※日程等は定例会前の議会運営委員会
で決定されますので、変更される
場合があります。

道の駅とよみ農産物直売所 初代グランドチャンピオンに輝く

12月定例会

田中市長の行政報告

1 新型インフル エンザ対策

定点医療機関あたりのインフルエンザ患者数が、三〇人を超え「警戒レベル」に達しています。非課税世帯等の接種費用を全額助成し、新たに中学三年生までの一回目の予防接種費用を助成していきます。

2 公共施設の 耐震診断結果

一三施設のうち、六施設で構造耐震指標が目標値を下回っており、玉穂市民体育館の早期改修計画を進めていきます。他

3 税等収納率 向上対策

健全財政の重要な要素である、安定した税源の確保が伸び悩み、十二月を滞納整理強化月間として収納対策に取り組みました。「休日・夜間窓口開設」を試行し、納税者の利便性を図ります。

4 高部工業用地 整備事業

市の施工分は三月中旬に完成予定で、造成工事も順調に進捗し、今年度中には終了予定です。用

5 学校施設 整備事業

豊富小屋内運動場改築工事も順調に進み、進捗率も五五%を超えました。二月末の完成に向け、予定通り進んでいます。

6 田富中学校 武道場建設

平成二十四年度から中学校の武道の必修化に伴い、文部科学省に武道場新設の補助金申請を行い採択されました。

7 青色防犯 パトロール

安全で安心して暮らせるまちづくりを目指し、防犯施策の推進に取り組んでいます。中央市消防協力会との連携で、青色防犯パトロールを実施するため、青色回転灯設置車両を四台配置、児童生徒の下校時間帯に合わせたパトロールで、地域の安全と犯罪防止に努めていきます。

市内の巡回パトロールに出発する
消防協力会の会員の皆さん（青パト出発式）



● 議会の動き ●

11月

12月

平成22年1月

1日	中央市文化祭	1日	議会運営委員会 会派代表者会議
3日	稲穂まつり	2日	二市一町正副議長・ 事務局会議
5日	議会運営委員会 代表者会議	3日	中巨摩広域事務組合 議会運営委員会
5日	議会広報編集委員会	4日	下水道審議会
6日	中巨摩地区広域事務 組合協議	6日	国保運営協議会
9日	青木が原組合議会	6日	第2回中央市社会福 祉大会
11日	第3回都市計画マス タープラン作成会議	8日	第4回定例会開会
16日	17・18日 常任委員会合同 視察研修	10日	一般質問
24日	社会福祉協議会正副 会長会議	11日	一般質問
24日	第1回よし原処理セ ンター特別審議会	14日	総務教育常任委員会
24日	三郡衛生組合議会運 営委員会	15日	厚生常任委員会
25日	中巨摩地区広域事務 組合臨時会	16日	産業土木常任委員会
26日	峡中地区戦没者遺族 大会	18日	第4回定例会閉会
26日	社会福祉協議会理事 会	21日	行政改革推進委員会
26日	第3回臨時会議会運 営委員会	24日	甲府地区広域行政事 務組合定例会
30日	第3回臨時会議員協 議会	25日	中巨摩地区広域事務 組合定例会
30日	第3回臨時会		
30日	三郡衛生組合臨時議 会		

一般質問

10議員が登壇

12月
定例会

十二月定例会では十人の議員が一般質問に立ち、二三項目にわたって市の方針をただしました。この記事は質問・答弁を要約したものです。詳細は市ホームページの議会会議録をご覧ください。

Q 長期総合計画を問う

ほか1件



田中健夫 議員

田中議員 平成十八年の合併から、四年が経過した

すべての市民が快適な生活を送ることができ、実り豊かな生活文化都市を将来像として掲げ、さまざまな事業を進める田

中市政を高く評価している。平成二十年にスタートした長期総合計画の三年目となる二十二年度に向けてどのような施策に取り組むのか、市長の所見を伺う。

A 活力に満ちたまちづくりを推進

市長 長期総合計画には、



中央市長期総合計画

市の将来像

実り豊かな生活文化都市

基本理念

- 自立した活力のある市の創造
- 自治力の確かな市の創造
- 文化度の高い市の創造
- やすらぎとふれあいのある市の創造

四つの基本理念がある。自治、暮らし、安らぎ、活力と交流の拠点作りであり、これを基本施策として着実に進めていく。厳しい財政状況と多様化する市民のニーズに対応し、

最小の経費で最大の効果を上げるため、第一次行財政改革大綱、中央市集中改革プランに従い、効率化とスリム化を図っていく。次年度以降の詳細は、政策実行計画マニフェストとして提示したい。

Q 次期市長選への出馬は

問 次期市長選まで三カ月足らずとなった。この四年間に多くの実績を残したことは、田中市長の長年の行政経験で培われた幅広い人脈、優れた先

A 再選を目指す決意を固めた

市長 今日まで、多くのの方々より、再選出馬の要請をいただいている。今後の中央市のあり方、将来を真摯に考え、熟慮を重ね

見性や判断力、行動力のたまものであり、卓越した行政手腕を高く評価している。市政の礎を築かんとする今、市長の力が必要であり、各種団体から出馬の要請がされている。力強い決意の表明を期待する。

てきた。中央市は基礎づくりの段階にあり、もっとも大切な時期と認識している。責任の重さを痛切に感じ、市民の皆さまの支援を仰ぐべく、来る市長選への出馬の意思を固め、ここに決意を表明する。しかし、四月八日までは任期中であり、二十二年度予算編成や重要な課題に取り組まなければならない。議員各位、市民の皆さまの深いご理解と、ご協力を賜りますようお願いして、次期市長選に対する答弁としたい。

Q 医大南部区画整理事業 の周辺整備は



内藤 進 議員

周辺地域の整備に課題を残している。

内藤議員 平成十四年以來取り組んできた、医大南部区画整理事業の完成が間近に迫った。中心エリアの都市形成には見事な進捗ぶりが見られる一方で、生活関連施設の整備、

- ①事業地域周辺の下水道整備が遅れている。設置済の下水道幹線から、各家庭への接続を促進すべきだ。
- ②事業地域周辺の幹線道路の整備は、新山梨環状道路の開通などにも対応

Q 中央市財政の現況は



小池 満男 議員

ほか1件

小池議員 ①人件費と給与費の分類は。

- ②財政力指数は昨年対比〇・〇三二の後退だが、十一月広報の数値〇・八五との食い違いは。
- ③過去三年間の市税の増

A 厳しい財政状況が 続く見通し

- 減と将来見通しは。
- ④一般会計に占める、義務的経費とその他経費、投資的経費の割合は。
- ⑤歳出削減に向けた事業仕分けは。

市長

- ①人件費は建設事

する喫緊の課題だ。新環状南通り線、玉穂中央通り線、玉穂東通り線の整備は。

③事業の完成は目下だが、医大南部第二地区についても区画整備の早期実現が望まれている。市長の所見を伺う。

A 財政状況を見極め 整備に努める

市長 ①下水道は認可区域を整備している。玉穂地区では若宮・井之口および中橋地内の認可区域の整備が進行中。一部が

業の事務費から支弁されるものを除いた、一切の給与費を計上している。

②二〇年度の財政力数値は〇・八四八。今年度は〇・八一六のため〇・〇三二の後退に間違いはない。今後は公表数値の統一を図る。

③一八年度は四六億六、六〇〇万円の前年の二・一%減、一九年度は四九億八、八〇〇万円で六・四%増、二〇年度は四九億七、六〇〇万円で〇・二%減。円高、デフレ、株安の企業業績への波及等で数年は厳しい状況が

未整備の成島地区も順次整備する予定。市の供用開始区域における下水道接続率は、二十一年三月現在、八三・八%。県平均の八四・五%と大差ないが、一層、普及に努めたい。

②玉穂中央通り線は、地域を縦断する幹線道路。区画整理事業の完了後に市道田富玉穂大津線までの残り約九一〇メートルの整備を検討する。新環状南通り線は、玉穂庁舎などへアクセスする横軸の幹線道路。全長一、一

続くと考えている。

④任意に削減できない人件費、公債費、扶助費の二〇年度一般会計に占める割合は、四四億六、八八七万円で四〇・二一%。義務的経費が少ないほど財政に弾力性がある。社会資本整備の投資的経費は九・五七%。投資的経費とその他経費を合算した義務的経費以外の割合は、五九・七九%。

⑤事業仕分けのほか、事業評価、政策施策評価、ベンチマーキングなど、さまざまな形態があり、

八〇メートルの内、甲府中央右左口線から環状浅原橋線までの三七〇メートルは、二十三年度に完成の予定。甲府中央右左口線から西は、区画整理事業で一六〇メートルを施工済で、残り六五〇メートルは財政状況を見極め整備に努める。

③医大南部第二地区については、玉穂町時代の地権者説明会からすでに八年が経過し、合併もあった。改めて説明会を開催し、財政状況等も精査して、総合的に判断する。



冠水対策のための排水路工事（布施地区）

Q 災害対策を問う

問 ①東花輪駅前、清川の冠水対策の進捗状況は。

②住宅地を流れる宇坪川の氾濫対策は。



整備が進む幹線道路・新環状南通り線（下成島地区）

A 治水の基盤整備 に努める

③流域の斜面が急峻な浅利川の災害対策は。

市長 ①東花輪駅前区間は、十月に地権者の現地確認が終了し、実施計画に入った。市と県の工事が関連しており、各工事の施工状況と併せ、優先し施工される。期間は二十二年度から二十四年度。

②宇坪川の対策は、県に申し重ねて要望していく。

③高部排水機場の稼働で安全性は確保されている。

Q 高部工業団地の現状は



宮川 弘也 議員

件あるのか。

A 立地条件の良さをPR

宮川議員 高部工業団地の完成、企業進出への期待は大きい。七月に東京で開催した団地のプレゼンテーションは、満席の盛況だったと聞く。現在、企業からの引き合いは何

市長 県の産業立地室に数件の問い合わせがあり市には六企業から問い合わせがあった。造成中であり、最終的な区画面積、販売価格が確定していない。

Q 撤退企業従業員 の雇用状況は

問 昨年十二月、市内の工場撤退に伴う従業員雇用について質疑した。その後も、雇用状況は悪化し続けている。現時点での状況把握は。撤退企業の跡地の見通しは。

A 跡地活用を図る

市長 パイオニア撤退時の五二五名の社員のうち、県内外のパイオニアグループヘ二〇一名、提携部門があるパナソニックヘ一一九名が雇用。退職者二〇五名のうち、一七一名が再就職した。跡地利用は未定だが、県と連携し活用を図りたい。

Q 選挙ポスター 掲示場の見直しは

問 ①市内の選挙ポスター掲示場には、ばらつき

A 県選管に要請 する

市長 ①早急に見直すよう、県選管に要請したい。
②同じ問題を抱える関係市町村と連携し、国へ要望したい。



有効活用が望まれる撤退企業跡地（西花輪地区）

Q 全ての子どもに 光を当てる教育を



関 敦隆 議員

ほか1件

関議員 ①自然体験や遊びの役割をどう考えるか。②子どもの自主性を育てるための工夫は。③小中学校の実体験や自然体験学習は。④コミュニケーション能

力の向上策は。⑤放課後における遊びの実態を把握しているのか。⑥学童保育、児童館の指導者の役割は。⑦日常的に水遊びができる小川は。⑧キャンプファイアー、花火などを子どもたちが自主的かつ安全にできる

A 第一次教育振興 基本計画を策定

市長 ①田植えなどの農

場所が必要だ。⑨遊びで危険回避し、知恵をつける空間が必要だ。⑩自治会の子どもクラブや育成会は形骸化していないか。指導者選定に市としての関与が必要では。⑪子どもの遊びには、リーダー的な大人が必要だ。子どもクラブや育成会は小学校単位が望ましい。⑫個性を尊重する教育の実践は。

業体験や伝承遊び等を通じて、心身の発達に努めている。
②自己表現とルール意識、自主性と社会性の発達を促すよう指導している。
③保護者に代わり、生活指導、自主的学習、遊びのスケジュールを調整、体調管理も心がけている。
教育長 ③林間学校、遠足、保育園児や高齢者との交流等があり、特色あるものとして、農漁村体験交流授業、卒業証書の紙漉体験がある。
④教育課程の全般を通し、

言語力・国語力とコミュニケーション能力の向上に努めている。
⑤児童館では、児童クラブの登録者と自由来訪者の各二〇〇名が遊具で遊んでいる。
⑦釜無川、笛吹川等の河川に恵まれている。大きな危険を回避し、生きる力を身につけてほしい。
⑧バーベキュー施設は関原の若宮公園にあり、豊富支所で貸し出している。
⑨子どもは遊びの天才。遊び場確保の名人。自ら遊びの空間を創出し、達

成感を味わってほしい。
⑩全市六〇自治会の子どもクラブや育成会は、異年齢集団を中心とした育成組織で、大切な役割を担っている。指導者選任方法に市が関与は難しい。
⑪子どもクラブや育成会を小学校単位に変更するのは、自治会の事情等があり、すぐには困難。
⑫個性は生育環境の中で、切磋琢磨し培われる。子どもの成育段階に即し、指導に努めている。

中央市の事業仕分けは

野中つね子 議員



野中議員 平成十八年の質問では、市の事業仕分けは、合併調整後に検討するとしていたが、進捗経緯と具体的な計画は、

ほか3件

財政状況を見極め整備に努める

市長 市の現状を検証・分析し、施策を立案する長期総合計画を策定した市民と協働して努力していく。事務事業評価方式の行政評価導入は、二十四年度の完全実施を目指す

生活文化都市で図書館が果たす役割

問 図書館事業の展開を提案してきたが、現在の状況を聞きたい。

図書館・学校司書の連携が重要

市長 司書資格を持つ職員を配置し、正規、臨時を問わず連携を高めつつ、良好な職場環境づくり・運営を指示している。図書館と学校司書との連携は必要不可欠と考える。

保育活動充実に看護職の配置を

問 子どもの健康・安全の確保など、保育現場の保健活動の充実が求められている。現状と看護職の配置を提案する。

専門職配置を検討

市長 子育て支援課・健康推進課・園医と連携し、問題解決に当たっている。法令基準を見極め、専門職の配置を検討する。

エコツーリズムの推進を

問 自然環境の保全や、自然と触れ合うエコツーリズム普及の取り組みは、新たな観光需要喚起と振興につながる。市の取り組みを聞きたい。

市の主要な事業と認識している

市長 エコツーリズム推進は、市の主要な事業の一つで、森林での癒しを求め、山之神千本桜を満喫できる活動や、身近な



話題の図書が展示された特設コーナー（田富図書館）

中央市の公有地は

小沢 治 議員



ほか2件

公売で歳入確保を図りたい

①宅地や転用できる公有地は何か所か。
②神明団地建設予定地の今後の計画は。
③公有地をネット等で公売する用意や計画は。

市内の光通信（光ファイバー網）は

問 市保有ファイバー網や企業が整備するファイバー網に、どんな対策と戦略を考えているか。

地域経済活性化に大変重要

市長 地域経済活性化に



売却が可能な市有地（神明地区）

公共施設の整備拡充計画は

問 豊富小グラウンドと豊富保育所の園庭の拡幅および農村公園の照明施設整備等の計画を伺う。

豊富保育園の敷地拡張は困難

市長 豊富保育園の園庭は周辺を庁舎、道路、小学校に囲まれているため敷地の拡張は困難。園舎は市立保育園六園の中で一番新しく、建て替え予定はないが、催しをする

場合は、農村広場などを利用していただきたい。農村公園の夜間照明設備配線は施工済みだが、財政状況や利用率等を協議した結果、設置計画は見送る判断をした。
教育長 豊富小屋内運動場改築工事は二月末に完成。災害時避難場所や地域住民の活用を期待している。改築で敷地は狭くなるが、グラウンド使用に支障がないように計画した。

小沢議員 市の二十年度決算の経常収支比率は、八六・三％で前年度より一・九％高く、財政の硬直化が心配される。公有財産の中で活用されないものは処分することも必要だ。

行政と自治会のあり方は



井口 貢 議員

井口議員 ①子育て支援 高齢者ケアを地域社会、特に自治会活動に対する支援策を伺う。
②自治会がコミュニティを基盤に、自主防災組織を地域に確立し、充実

する方策は。
③ごみ減量化・資源化に自治会の積極的な活動が大切だが、支援策と取り組みを伺う。
④地域に身近な児童館・福祉センターなど、公的施設の目的達成のため、自治会の指定管理者は効果的・有効な方法だ。市

ほか1件

見えない貧困対策について



名執義 高 議員

名執議員 中央市の生活保護世帯は十年前が二六人の増加となつて六〇人と二・三倍の増加となつていて、保護を受けられなかったケースの中に、隠れた生活困窮者を把握する上

で重要な情報があると考える。生活保護相談に来た人が一定期間で何人いるか、困窮の度合い、生活保護申請や不支給はどんな理由かを把握し、集計データを毎月公表する必要がある。特に日系ブラジル人の外国籍住民の多い市では、外国籍の方

ほか1件

コミュニティ形成を支援

市長 ①中学生以下一人当たり年間三百円、自治会に三千円の助成金を交付子どもクラブ指導員に年間三千円の報酬を支給。高齢者の生きがいと健康づくり推進事業を実施する自治会に、助成しているところもあり、高齢社会におけるコミュニティの形成が図られるよう支援している。
②自主防災会資機材整備

の状況把握は重要だ。一日一食も欠くような切羽詰まった生活困窮状態にある人が、身近な地域に増えていることを多くの人々に知らせることが大切だ。食のセーフティーネット保障のため、市でも市民・企業・行政・福祉施設、NPOが協働で、生活困窮者を支えることが必要。食品ロス削減にもなるフードバンクシステムの構築や、生活困窮者に緊急支援する食券配布制度など検討すべきだが、市の考えは。

事業補助金制度を設け、二二団体が資機材の整備を行った。総合防災訓練等を通し、防災リーダーの育成推進や、自主的な防犯体制の充実などを支援していきたい。
③集積所の管理や、分別リサイクル収集の推進に自治会・行政・受託組合と連携し努力していく。
④指定管理者公募要件に、自治会が法人格を有する必要はなく、管理形態を見直し、指定管理導入施設に選定していきたい。

最善の解決を図る支援を行う

市長 生活保護の相談に来た方は二十年度五七件、二十一年度が五一件。データ集計は、相談者の生活状態や資産状況、家族構成等が違つたため、集計項目の設定等が複雑で、プライバシーの関係もあり集計の公表は無理と考える。外国籍の方の相談も増加しており、市民と外国籍住民の交流会を通じて情報交換・意見交換ができればと考える。

入札・契約制度改革は

問 中央市の指名競争入札談合疑惑度は十八年度九〇%、十九年度九九%、二十年度九七%、二十一年度は九月まで一〇〇%だが、全国八〇六市区ある中で、これ以上談合疑惑度の高い市があるか、また、入札結果をどう考えるか。

入札制度改革をさらに進める

市長 市の落札率はあく

まで入札結果によるもので、公正な入札結果数値と考える。入札制度改革をさらに進め、適切な情報開示と適正な公共工事執行を図る。

入札談合の情報があった場合、中央市入札調査委員会に通報、必要に応じて調査委員会を招集し審議する。談合事実があれば入札執行の取り止めや、結果を公正取引委員会に通報することになっている。

〇歳児保育の充実を

問 厳しい社会情勢で、両親が家庭で保育できない乳児が増えている。市でも少数ニーズに応える使命があり、まごころ保

乳児保育の充実を含め対応

市長 特別保育は市立六保育園で各月一回実施、入園充足率の改善を図ることを目的に実施しており、田富第三保育所で〇歳児三名を受け入れた。本年度の内容と今後の推移を見ながら、乳児保育の充実も含め、対応していきたい。

視察報告

平成21年11月17日(火)
～18日(水)

■廃棄物最終処理場

(長野県小諸市)

■家電リサイクル処理工場

(栃木県下都賀大平町)

本市では、環境問題に取り組む市民の関心が非常に高く、リサイクルステーションへの搬入や、自治会単位で実施する収集日に持ち込まれる資源ゴミの回収量が年々増加しています。

それによって、焼却や埋立て等により処分される一般ゴミの量が以前より少なくなりました。

今回は、自治体で処理しきれない一般ゴミ・産業廃棄物が、最終的に処分される施設や家庭から出るプラスチック類などの資源物をリサイクルする施設、そのほか、家電リサイクル法によって、搬出された家電製品がいかにか分別処理され、新たな製品原料へと再生処理されるリサイクル現場を中心に、視察研修を実施しました。



最終処分場でも必ず分別回収されます(最終処理場)



家電製品から再商品化される部品が次々に回収されます(家電製品リサイクルプラント)

Q 高齢者世帯に「転倒防止器具」補助を

ほか3件



設楽愛子 議員

住宅用火災警報器 煙感知式の設置補助も考えては。

設楽議員

高齢者世帯に転倒防止器具の取り付けを補助制度として検討する考えは。希望者に三点まで無料で取り付け補助し、それ以上は有料とするなど、市の考えを伺う。また、

A 調査や助成制度の検討をしたい

市長 転倒防止器具の取り付け現状調査は実施していない。災害時要援護者支援マニュアルの中で、要援護者名簿を作成し、

Q 児童館の環境整備は

問 市には十一の児童館があり、受け入れ態勢整備や時間延長など、使いやすい環境になってきたが、子どもを預かる現行の体制は一人では負担が大きい。児童館は二人体制にすべきだが、市の考えを伺う。

A 適切な児童館運営に努める

市長 児童館職員と子育て支援課が一体で、児童館の現場の状況を確認、母親クラブなどにも相談し、適切な児童館運営に努めていく。

Q 病後児保育について

問 病気や回復期の子どもを一時的に預かる病児・病後児保育を、ファミリーサポートセンターの中に位置づけられないか。

A 制度の拡充・補助は計画なし

高齢者のための制度も含め推進できないか伺う。

市長 病児・病後児の預かり・援助への対応充実のため、預かる側の人員確保から始め、広報・ホームページでの呼びかけや人を介して勧誘を推進し、提供会員には専門的な内容を学べるよう、講習を検討する。高齢者を含めた援助活動はリスクが伴い、介護や看護などの専門知識が必要で、人材



転倒防止器具の一例

確保が厳しい。ファミリーサポート制度の拡充・補助は計画していない。

常任委員会レポート

総務教育常任委員会

▼一般会計補正予算

(第4号)

〈総務課〉

問 緊急地震速報、全国瞬時警報システムは七月の地震の際に作動したか。

答 地震の振動中にシステムが稼動し、周知放送を行った。

問 補正のシステム改修の内容は。システム機能を自治会や消防団等の防災活動に役立ててほしい。

答 放送での周知内容がワンパターンだったが、地震の規模・状況等を自動的に選択し放送が可能となる。

〈財政課〉

問 市税全体の総体的な歳入状況は。

答 全体で四億円落ち込む見込み。固定資産税一億七千万円、住民税（法人含む）一億六千万円など。

問 たばこ税はどうか。

答 平成十七年度から年々落ち込んでいる。

〈政策秘書課〉

問 ホームページ上の広告代の金額設定と、アクセス数は。

答 一件一カ月五千円。アクセス数はリニューアル前が月二万五千件、以降は六万七千件。

問 ホームページ以外の広告は。

答 広告掲載要綱を定め募集。封筒裏面に「子育て応援広告」等を募集、一部は掲載が決定。他媒体等の掲載も検討する。

問 市民に周知されていない。内部で検討が必要だが計画は。

答 行革検討委員会で検討、担当課と調整を図り対処する。

〈管財課〉

問 けやき等の大木の管理は住民だけで対応できない。専門家の判断を仰ぐ考えは。

答 公園内の植栽は市で管理。伐採、間引き等は、自治会や専門家と協議し実施したい。

問 危険遊具等の管理は、自治会の指摘前に対処する考えは。

答 都市公園は専門業者に委託、地区公園はシルバー人材センター職員が点検。

〈教育総務課〉

問 武道が必須となるが、内容は。

答 体育科の授業として、二十四年度から武道を全年実施。

問 武道場以外の使用も可能か。

答 サブの体育館として使用したい。

問 武道の種目は剣道と柔道か。

答 礼儀や伝統ある武道

とされているが、指導者施設等で選定する。

問 心の相談員設置事業は。

答 玉穂は学生二人、田富は教員一人があたる。

問 相談員は学生と聞くが、専門的な学生か。

答 大学と提携し、先輩的な存在として対応、実績もある。

問 狭い学校内の工事だが、安全の確保は。

答 解体・建設工事が連続するが、工事専用進入路確保など万全を期す。

問 安全管理に十二分の配慮を。

答 防護柵、保安員の配置等、安全対策は万全を

期す。

問 準要保護児童の内容は。

答 学校行事、学年等で異なる。中途申請も増えている。

〈生涯教育課〉

問 施設整備の充実は理解する。スポールの指導方法（礼儀、規律を守る等）は把握しているか。指導者で温度差がある。

答 各団に委ねている。目に余る行為は指導。

・後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少及び同広域連合規約の変更

・中巨摩地区広域事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同事務組合規約の変更

問 構成市町村のうち一団体が反対の場合は。

答 最初から協議し直すことになる。

・三郡衛生組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更
・市町村議会議員公務災害補償等組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更

厚生常任委員会

▼介護保険条例中改正 ▼平成二十一年度一般会計補正予算（第4号）

〈税務課〉

問 固定資産税の課税に際し、算定、計測等に問題はなにか。

答 登記面積、公図に基づき算定。所有者、面積用途等の登記変更は、法務局の資料を基に市のデータを修正。評価額は不動産鑑定士協会に委託し算定。

問 地籍調査の未完了地区は、登記と現況面積の相違があるが。

答 個人で地積更正手続きしないと修正できない。

問 課税データの開示は。

答 データは十年間保存。毎年縦覧期間を設け、課税明細は本人が確認できる。

問 ビジネスパークの倒産企業の課税状況は。

答 一社は売買され名義変更。一社は清算終了したが売買まで課税。

〈高齢介護課〉

問 豊富福祉センター運営費の補正は。



伐採後のケヤキの木（田富庁舎）

▲**答** 女子浴室の屋根の漏水工事。

問 田富福祉公園運営費の補正は。

答 清掃用の洗剤購入と混合栓（蛇口）の取替え。

へ福祉課

問 生活保護が急増していると思うが。

答 十一月現在の比較で合算で四世帯、五人増死亡、転出等もあり、実際は八世帯増。

へ子育て支援課

問 子育て応援特別手当支給事業の、事務費計上の影響は。

答 影響なし。

▼国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

問 還付金が生じた原因は、同様のケースは何件もあるのか。

答 国保加入者が二重納付したための過誤納で、滅多にないケース。

問 予算編成時期だが、厳しい国保財政で、どのような方針で臨むのか。

答 医療費増大の対応が課題。抑制は検診による早期発見・治療が必要。市はがん対策に禁煙等の啓蒙・啓発し受診率アップを図っている。生活習慣病対策は健康推進課と連携、特定健診の受診者

増の取組みを行う。
問 包括支援センターの有効活用は。

答 予防対策に重点を置き、各担当課との連携が重要。

▼介護保険特別会計補正予算（第3号）

問 居宅介護サービスで認知症の方の対応は

答 認知症予防サポーター養成講座を開催し五〇人が受講。取り組みは家族以外の方も認知症の理解が重要で、サポーターを増やしたい。

▼地域包括支援センター特別会計補正予算（第1号）

産業土木常任委員会

▼一般会計補正予算（第4号）

へ農政課

問 生産調整対策事業の補助金と内容は。

答 農地法の改正でJAが農地を借り受けられる。事業主体はJA中巨摩東部。農業用機械の整備に対する補助率二分の一の事業。

問 機械のオペレーター・格納庫等の確保は

答 全てJA中巨摩東部で対応。

へ商工観光課
問 緊急雇用創出事業の補正内容は。

答 補助率百％。雇用期間は平成二十二年一〜三月、ハローワークを通じて七名を募集。

問 募集状況と賃金は。

答 税務課へ配置する五人に八人、建設課へ配置する二人に九人が応募。賃金は市臨時職員の賃金を基に決定。

問 雇用期間は限定か。

答 これまでより緩和され、六カ月以上の継続雇用も可能。

問 新たな雇用の受け入れはできないか。

答 新規事業があれば募集をする。

問 採用時の地域要件と一日の雇用時間は。

答 地域要件はない。面接時に市内在住者を優先。就業時間は八時間。

問 建設課へ配置される二人の業務内容は。

答 河川清掃時に排出・ストックされるゴミ混入土砂等の分別処理や撤去処分等。

へ建設課

問 耐震改修モデル事業の内容は。

答 百％補助事業。耐震化意識向上・啓発講演会の講師報酬と、市内二千世帯の耐震改修防災意識調査の費用。

問 中橋地区の道路橋梁維持費の補正内容は。

答 新天神橋下水管転架のため、河川占用許可手続きに要する委託料。

▼簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）

▼下水道事業特別会計補正予算（第3号）

問 受益者負担金未納の一部未納でも供用できるか。

答 受益者負担金未納の一部未納でも供用できる。

問 分割納付の場合でも、各納期限までの未納は供



出番を待つ大型農機具
(JA中巨摩東部玉穂支所)

▼農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）

問 3080号線の幅員減少は。

答 県道側を拡幅、右折レーンは六mの幅員だが用地取得が困難。県道交差のため県公安委員会、交通規制課と協議調整し一方通行とする。

問 一方通行規制の方向は。

答 県道から西方向への規制。

▼上水道事業会計補正予算（第3号）

問 一方通行規制の方向は。

答 県道から西方向への規制。

▼上水道事業会計補正予算（第3号）

問 一方通行規制の方向は。

答 県道から西方向への規制。

市民の談話室



国会議員の定数削減を！

高部 伊藤 茂男



国・県は三位一体改革を旗印に、市町村合併に関与し、三万人特例で地方自治体は大幅に減り、一応の成果が上がったと判断しているが、合併は本当によかったのか疑問である。

民主党政権へ変化した衆議院選挙以降も、国会議員定数の議論がまったくないのは非常に残念である。大幅な赤字の予算を組まなければならぬ状況下であるにもかかわらず…。

「国会議員って七三二人も必要なのか」

昨年、産経新聞が実施した世論調査で、国会議員の定数削減は必要と思うかとの質問に八七・五%が思うと回答し、思わないのが八%と大きく上回った。国民の多くが国会議員は、多すぎると思っている事実が浮かび上がった。

アメリカと比較しても、人口を勘案すると日本は多すぎる。さらに想像できないほどの給与、手当てが支給され、全部が税金で支払われている事実を再確認しよう。

為せば成る…か？

極楽寺 近藤 公明



私と大正琴の出会い、もう三十数年前になる。機会は何であったか忘れたが、最初は自己流でピックの持ち方も分からず、

いい加減に音を出していた。それから後の二十年は、師について譜面を見ながら、単調な「さくらさくら」「荒城の月」から三連譜の続く「津軽海峡冬景色」、さらに相性はいいのに誠に厄介な古賀メロディー（十六分音符はざら、時々三十二分音符が顔を出す）、この難曲も師の指導により何とか曲がりなりにも物になりました。

ところがその矢先、なぜか突然右親指に力が入らなくなり、ピックが持てなくなつた。専門医に診てもらうと、親指と手本体をつなぐ複雑な関節が外れてしまう「何か症候群」というたちのよくない病気で、治しようがないとのこと、やむを得ず一時大正琴を手放した。しかしその寂しさ、むなしさはとても耐えられたものではない。

そこで今年には初心に帰って、人差し指と中指を使い、初めからやり直すつもりでいる。「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」というが、私にとって、果たして大正琴との決別は、避けることができるだろうか？

編集後記

新年を迎える年明けとともに、日本列島は、例年になく大寒波に見舞われました。幸いにも本県（市）には大きな被害はありませんでしたが、普段から豪雪に見舞われている地域では、例年にもましての大被害により、生活に困窮したことも事実であり、また一転して一月中旬には、日中に汗ばむような暖冬に見舞われるなど、いつにもましての異常気象に、自然環境破壊による大災害発生の前兆かと不安がよぎります。私たちの周辺では、約四半世紀にわたり大災害が発生していないため、自然災害に対する危機意識がまひしているように思われてなりません。阪神淡路大地震に対する「日本火災学界」の調査報告書によると、生き埋めや閉じ込められた際の救助実態は自助・家族・友人・隣人が九五%以上であり、公の機関による救助はほんのわずかです。このことからみても、普段からの危機意識の高揚と自助努力が、いかに大切か伺うことができます。

議会広報編集委員会

委員長 田中 一臣

副委員長 一瀬 明

委員 名執 義高 小池 満男

野中つね子 福田 清美